

2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社ニーズウェル 上場取引所 東
 コード番号 3992 URL <https://www.needswell.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船津 浩三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 塚田 剛 TEL 03-6265-6763
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の業績 (2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	4,078	△0.5	337	△10.1	339	△8.5	231	△9.2
2019年9月期第3四半期	4,097	9.6	375	5.9	370	7.9	255	7.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	27.30	27.04
2019年9月期第3四半期	30.22	29.81

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,956	2,105	71.2
2019年9月期	2,688	1,973	73.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,105百万円 2019年9月期 1,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	13.50	13.50
2020年9月期	—	0.00	—		
2020年9月期 (予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,550	0.6	515	1.4	510	1.0	349	0.5	41.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 業績予想の修正については、本日 (2020年8月7日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	8,491,200株	2019年9月期	8,483,600株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	232株	2019年9月期	232株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	8,485,969株	2019年9月期3Q	8,441,847株

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による緊急事態宣言により経済活動が抑制されたことで厳しい状況に陥りました。緊急事態宣言の解除後は社会経済活動のレベルが段階的に引き上げられ、徐々に持ち直しに向かうことが期待されておりますが、今後も国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動などの影響を注視する必要があります。

当社が属する情報サービス産業は、引き続きDX(Digital Transformation)の取組みの強化・拡大による大きな変革期にあり、新型コロナウイルス感染症の収束までは投資の抑制による落ち込みが強く懸念されるものの、中長期的にはIoT・自動運転・AI・クラウド・エッジコンピューティング・ブロックチェーン・5G等に加え、テレワークの広がりによるセキュリティ対策や人手を介さないRPA(Robotic Process Automation:業務自動化ロボット)等への需要が増加すると予測しております。

このような状況のもと、当社はテレワーク対象者の拡大等の感染症対策を行いながら、今期の成長戦略の重点項目である「企業価値の向上」、「事業基盤の確立」、「ソリューション・ビジネスの拡大」、「エンドユーザー取引の拡大」、「AIビジネスの立上げ」、「ニアショア開発の立上げ」の6点を全社一丸となり推進しております。

具体的には、当社の強みの最大化による売上拡大、生産性向上による利益率向上、売上高の50%超を占めるエンドユーザーとの直接取引による高い収益性と継続案件の確保を目指してまいりました。

また、技術者確保においては、引き続きパートナー企業との協力・協業体制を強化する他、東京を始めニアショア開発拠点である長崎での採用の強化にも取り組み、2020年4月には前期比23人増の52名の新卒者を迎え入れました。

2020年3月以降新型コロナウイルス感染症が急激に拡大し、2020年4月に緊急事態宣言が発出された後はテレワークの対象者を拡大し、可能な限り開発や保守を継続しておりましたが、顧客からの要請によりシステム開発や導入が一時延期となるケースが発生いたしました。

事業のサービスラインである「業務系システム開発」は、当社の最大の強みである金融系システム開発において、高い金融系業務知識を持った技術者の育成と、新たな金融系案件の獲得、既存顧客との取引拡大に努めましたが、一部の案件で一時的な待機や延期が発生し、前年同期を下回る売上となりました。

「基盤構築」は、感染拡大の状況にあっても比較的安定して開発を継続できたことから、前年同期を上回る売上となりました。

「組込系開発」は、将来性のある医療機器、自動車関連分野を中心に取り組みましたが、感染拡大により製造業向け案件の受注が減少し、前年同期を下回る売上となりました。

「ソリューション・商品等売上」は、今後の5G時代に向けいっそう重要性を増す情報セキュリティ対策をサポートする「情報セキュリティソリューション」、RPA等の活用により「働き方改革」、「人手不足」を解決に導く「業務効率化ソリューション」、様々な業種でDX(Digital Transformation)の実現をアシストする「AIソリューション」の三つの製品群を取り揃え、取り組んでまいりました。WinActor、Concurにおいては、引き続きソフトウェア開発の強みを活かして様々な連携機能を提供しております。また、2020年4月には、AIソリューションにおける初の自社ソリューションとして、営業スタッフ等のトークをAIで分析し弱点を数値で見える化するSpeak Analyzerや、業務効率化ソリューションにおいてConcurの経費精算システム導入に必要なノウハウやテンプレートをパッケージ化しスピーディな本番稼働を可能とした当社独自のサービスであるSpeed Expense Assist (Speed EA) サービス等、新たなソリューションの提供を開始しました。これらの取組みによる他社との差別化を高く評価していただき、前年同期を大きく上回る売上となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,078,172千円(前年同期比0.5%減)、売上総利益においては、950,481千円(前年同期比2.1%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、第1四半期累計期間に計上した本社の移転及び長崎開発センター開設に伴う一時的な費用や、営業力強化のための人員増強、新卒採用の増加、優秀な技術者確保のための人件費等、先行投資費用が増加し、613,240千円(前年同期比2.9%増)となりました。

以上の売上高の減少並びに販売費及び一般管理費の増加を受け、営業利益は337,240千円(前年同期比10.1%減)、経常利益は339,157千円(前年同期比8.5%減)、四半期純利益は231,654千円(前年同期比9.2%減)となりました。

なお、当社は情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

当第3四半期累計期間における事業のサービスライン別の売上高を示すと、次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
業務系システム開発	3,210,360	78.7	99.1
基盤構築	403,735	9.9	101.1
組込系開発	239,762	5.9	83.6
ソリューション・商品等売上	224,313	5.5	131.6
合計	4,078,172	100.0	99.5

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は2,956,640千円となり、前事業年度末と比較して268,259千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が186,836千円増加、建物が28,471千円増加、投資有価証券が70,392千円増加、繰延税金資産が40,886千円増加し、一方で、売掛金が39,886千円減少、建設仮勘定が23,005千円減少、ソフトウェアが11,733千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は851,540千円となり、前事業年度末と比較して136,670千円の増加となりました。これは主に、未払費用が256,622千円増加、未払消費税等が41,052千円増加し、一方で、買掛金が40,726千円減少、未払法人税等が13,439千円減少、賞与引当金が102,837千円減少、役員賞与引当金が8,780千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,105,100千円となり、前事業年度末と比較して131,588千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が117,129千円増加、その他有価証券評価差額金が13,806千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、本日(2020年8月7日付)発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2020年9月期 業績予想数値(2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,000	百万円 549	百万円 550	百万円 379	円 銭 44.72
今回修正予想(B)	5,550	515	510	349	41.18
増減額(B)－(A)	△450	△34	△40	△29	－
増減率(%)	△7.5	△6.2	△7.3	△7.9	－
(参考)前期通期実績 (2019年9月期)	5,517	508	505	347	41.15

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,548,553	1,735,389
売掛金	705,692	665,806
仕掛品	25,527	30,162
原材料	1,292	1,938
貯蔵品	—	500
前払費用	47,573	44,920
その他	2,474	2,014
貸倒引当金	△4,237	△3,995
流動資産合計	2,326,876	2,476,735
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,845	39,317
減価償却累計額	△10,207	△4,248
建物(純額)	637	35,068
器具及び備品	27,721	21,660
減価償却累計額	△24,721	△16,849
器具及び備品(純額)	2,999	4,811
建設仮勘定	23,005	—
有形固定資産合計	26,643	39,879
無形固定資産		
ソフトウェア	65,538	53,805
ソフトウェア仮勘定	—	1,945
その他	148	256
無形固定資産合計	65,686	56,007
投資その他の資産		
投資有価証券	—	70,392
出資金	5	5
繰延税金資産	102,246	143,133
敷金及び保証金	85,480	86,044
保険積立金	76,546	76,546
その他	4,896	7,896
投資その他の資産合計	269,174	384,018
固定資産合計	361,505	479,905
資産合計	2,688,381	2,956,640

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,839	106,112
未払金	128,124	133,924
未払費用	—	256,622
未払法人税等	100,432	86,992
未払消費税等	47,222	88,275
前受金	1,281	1,100
預り金	40,851	40,012
賞与引当金	241,336	138,499
役員賞与引当金	8,780	—
流動負債合計	714,869	851,540
固定負債		
固定負債合計	—	—
負債合計	714,869	851,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,350	414,677
資本剰余金		
資本準備金	270,750	271,077
資本剰余金合計	270,750	271,077
利益剰余金		
利益準備金	783	783
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,287,804	1,404,933
利益剰余金合計	1,288,587	1,405,716
自己株式	△177	△177
株主資本合計	1,973,511	2,091,294
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	13,806
評価・換算差額等合計	—	13,806
純資産合計	1,973,511	2,105,100
負債純資産合計	2,688,381	2,956,640

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,097,543	4,078,172
売上原価	3,126,549	3,127,691
売上総利益	970,994	950,481
販売費及び一般管理費	595,933	613,240
営業利益	375,060	337,240
営業外収益		
受取利息	14	10
受取配当金	—	2,012
雑収入	—	49
営業外収益合計	14	2,073
営業外費用		
支払利息	155	—
株式公開費用	4,000	—
株式交付費	90	120
雑損失	0	36
営業外費用合計	4,246	156
経常利益	370,828	339,157
特別損失		
本社移転費用	—	4,750
特別損失合計	—	4,750
税引前四半期純利益	370,828	334,407
法人税、住民税及び事業税	57,593	149,732
法人税等調整額	58,134	△46,979
法人税等合計	115,728	102,752
四半期純利益	255,100	231,654

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、ソフトウェア開発を中心とした情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントのため、記載を省略しております。